

哲學研究

第四十三卷 第十二冊

第五百六號

昭和四十二年七月一日發行

好奇動因と選擇……………本吉良治

社會的事實と行爲……………中久郎

— デュルケム理論の問題 —

カントの神存在論證について……………春名純人

— 特に批判前期の「唯一の證明根據」
(一七六三年)を中心とする —

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年二、四〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

湯山森本武松藤服蓮野長中辻武園重神梶柿上井井石池
 淺田吉藤尾澤部實田尾村内原澤野山崎野田
 田美 久 慧 上島田
 幸都良一義令正重又雅公義太俊一雄祐照 義
 孫晶男治雄海夫明康夫人郎一範郎郎郎一一夫俊勉仁祐

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月四日(土)午後一時半
会場 京都大学工学部電気総合館大講義室

(文学部新館東方)

- 一 ハイデッガーにおける世界の問題……………京都大学教授 辻村公一
- 一 絵巻物における時間と空間(スライド使用)……………京都大学教授 蓮実重康

(講演順)

☆ 右終了後楽友会館において懇談晩餐会を開きます。(会費約千円)

☆ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京大文学部社会学研究室までお申出下さい。

化されつつ、実践的に無制約者の把握が問題とせられるに至る。自律的実践理性の指定する道徳法則に服することが義務であり、かかる義務が神の命令と看做され得る道徳的神学の立場である。かかる Theismus は批判前期の Theismus ではない。批判主義の確立は理性主義の確立である。理性主義は内在主義であり、内在主義は本来的有神論ではない。

(筆者 大阪大学文学部〔哲学〕助手)

次 号 論 文 予 告

ホワイトヘッド『過程と实在』への序説……………ジョン・D・ゴーヒン 野田 又夫 訳

脳と電子計算機(後篇) F. H. George著: The Brain... as a Computer……………三 谷 恵 一

前 号 目 次

存在と知識——仏教哲学諸派の
論争(二)……………梶 山 雄 一

経量部の根本的立場……………梶 山 雄 一

ヘーゲルの精神現象学、及びそれ以前の諸書に於ける「生と死の戦い」の思想について(承前完)……………ヴァン・ブラフト

デカルト哲学の立場……………森 啓

脳と電子計算機(前篇) F. H. George著: The Brain... as a Computer……………三 谷 恵 一

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會(振替口座京都四〇三九番 京都哲學會)宛に規定の會費(年二、四〇〇圓又は半年一、二〇〇圓)をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區北の丸公園一番一號創文社(振替口座東京九二四七二番)宛に願います
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい(一年分又は半年分)、會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送付済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に清算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和四十二年六月二十五日印刷
昭和四十二年七月 一 日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編 集 代 表

神 野 慧 一 郎

發 行 人

久 保 井 理 津 男

印 刷 人

堀 内 文 治 郎

印 刷 所

堀 内 印 刷 所

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 北 の 丸 公 園 一 一 一
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 九 ノ 内 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御註文はすべて代金送料共(一部、定價二五〇圓、送料・四〇圓)前金にてお送り下さい

昭和四十二年六月二十五日印刷
昭和四十二年七月一日發行
（每月一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLIII

July, 1967

No. 12

Curiosity Drive and Selective Behaviour..... Ryoji Motoyoshi

Fait Social et Action

— *Essai sur la théorie de Durkheim* —

..... Hisao Naka

Kants Gottesbeweis in der vorkritischen Periode

— *Das Problem der Überzeugung* —

..... Sumito Haruna

Published Monthly

by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價 二五〇圓

IBM 6427